

ROLAND MIDI PERCUSSION SYSTEM

PAD-MIDI INTERFACE PM-16
SNARE/TOM PAD PD-31/PD-21
BASS DRUM PAD PD-11

 Roland



このシステムには、MIDIを操る知能がある。



SHOT OF ADVANCE

ROLAND
MIDI PERCUSSION
SYSTEM



超・表現力パーカッション・システム現わる。この一撃はシーンの常識を打ちやぶり、鮮烈なインプレッションとなってオーディエンスの心深くヒットするでしょう。パッド・MIDIインターフェイスPM-16そして高性能パッド・コントローラーPD-11/21/31。これはパーカッショニストとMIDIを結び、パーカッショニストと未来シーンをインターフェイスするニュー・システム。キーボーダーがギタリストが自由な音色表現をステージの翼にしたように、パーカッショニストにも果てしない表現力と可能性を約束。さあ、Shot of Advance. あなたのショットを最先端の音たちが待っている。

PM-16

PAD-MIDI INTERFACE ¥65,000

MIDIのすべての表現力がパーカッショニストの武器に。これはあなたと未来シーンを結ぶインターフェイスだ。

PAD-MIDI INTERFACE

あらゆるショットをMIDI変換

まさにレボリューションナルにドラム・シーンを変革するローランドMIDIパーカッション・システム。その核であり頭脳となるのがPM-16。あなたのショットは、ここで精密にMIDI変換され、リズム・コンポーザーTR-505やシンセサイザー、サンプラーなど、あらゆるMIDI音源を自由自在に叩きわけることができます。しかもPM-16は、マイクやラインからの入力

信号もMIDIに変換。アコースティック・ドラムにマイクを付け、このマイク出力をトリガーとしてMIDI音源を鳴らす、あるいはMTRに録音されたドラム・サウンドをライン入力して、そそりMIDI音源のサウンドに差し換えることも可能です。さらにデジタル・リバーブなどMIDI対応エフェクトの同時コントロールや、MC-500によるシンセ・ブレイブの併用も容易。単なるエレクトロニック・ドラムの枠を大きく超えて、まったく新しい壮大・多彩なパーカッション表現の世界をひらくPM-16です。



- ① PATCH SHIFT JACK (UP,DOWN)
- ② AC ADAPTOR JACK
- ③ POWER (ON/OFF)
- ④ PAD INPUT JACK (1-16)
- ⑤ MIDI IN CONNECTOR
- ⑥ MIDI OUT CONNECTOR
- ⑦ L.C.D. CONTRAST CONTROL
- ⑧ MODE SWITCH (BASIC EDIT/ADVANCE EDIT/PLAY)

PD-31/21

PD-31/21

SNARE/TOM PAD PD-31 ¥18,000 SNARE/TOM PAD PD-21 ¥14,000

16 CHANNEL INPUTS

表現力を拡大する16トリガー・イン

ますますクリエイティブ性を高める最近のドラム・シーンに対応して入力数は圧倒的の16チャネルを装備しました。イメージーションのままに音数をふやす、基本的なドラム・サウンドだけなく、さまざまなSEショットをプラスしてオーディエンスの意表を突く。ブレッジ・プレイにも余裕の対応ができる入力数です。

EDIT & PARAMETER

超・精密エディットで超・表現力

PM-16では、パーカッショニストのエールなイメージをモーション化などをま

からトリガーをとる場合に、周囲の音や振動をマイクが拾い、音源が誤動作で鳴ることを防げます。0~99の範囲で設定できます。

●ダイナミクス・カーブ(A)：パーカッション・プレイの重要な感情表現であるスティック・ワークそのものの表現力を高度に追求したPM-16。その何よりの証といえるのが充実したダイナミクス機能の数です。まず、ダイナミクス・カーブ。パッド面を叩く強さに対する音量の変化特性を5種類のダイナミクス・パターンの中から選択するパラメーターです。あなたの好みのショット・フィルタや、曲目の演出に合わせて各パッドごとに設定することができます。

●ダイナミクス・ピッチ(A)：パッドを叩く強弱で音程を変化させるパラメーター。ノート・ナンバーで設定した音程に対して-24~+24の範囲あるいはOFFを設定できます。

●ペンド・デプス(A)：シンセやサンプラーなどキーボードのピッチ・エンベーダーと同じくペンダ効果をえるパラメーター。このペンド・デプスでピッチ変化の深さを指定し、発音直後にピッチが上がるプラス側(最大+60)と下がるマイナス側(最大-60)あるいは効果のつかないOFFを選択できます。

●ペンド・ディケイ(A)：ペンダ効果として、いったん立ち上がり(立ち下がり)したピッチが元の音程へ戻るまでの時間を指定するパラメーター。1~99の範囲で設定できます。

●ダイナミクス・ペンド(A)：ピッチ・ペンドをかける深さをパッドの叩いた強さで変化させるパラメーター。深さはペンド・デプスで設定した範囲内。パッドを強く叩くほど深いペンダ効果がえられます。ON, OFFを選択。

●ミニマム・ペロシティ(A)：パッドを叩く強弱に対して、音源を鳴らすための最小値を指定するパラメーター。この設定により、弱く叩いたり設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(B)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(B)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(B)：各パッドごとの音源の音程を決めるパラメーターです。リズム・コンポーザーの場合は音色を指定することになります。0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(B)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定。

●ゲート・タイム(B)：パッドを叩いて発音した瞬間から音が消えるまでの時間を指定するパラメーター。AUTOおよび1~60の範囲で設定でき、最大約3秒の持続音がえられます。

●スレッシュルド(B)：入力したトリガー信号に対して、MIDI変換の開始レベルを指定するパラメーター。アコースティック・ドラムおよびアコースティック・ドラム音をトリガーと

でもストレートに音の表情として表現するためには、豊富かつ緻密なパラメーター群を搭載。個性にあわせて、奏法にあわせて、自由にサウンドづくりを進めることができます。しかもエディット作業は2モード構成。16の入力に対して一括してエディットを進められ、ドラム・サウンド全体の輪郭づくりをスピーディに行なえる「BASIC EDIT」モードと、16の入力に対して1チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできる「ADVANCE EDIT」モードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(A)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ゲート・タイム(A)：パッドを叩いて発音した瞬間から音が消えるまでの時間を指定するパラメーター。AUTOおよび1~60の範囲で設定でき、最大約3秒の持続音がえられます。

●スレッシュルド(A)：入力したトリガー信号に対して、MIDI変換の開始レベルを指定するパラメーター。アコースティック・ドラムおよびアコースティック・ドラム音をトリガーと

でもストレートに音の表情として表現するためには、豊富かつ緻密なパラメーター群を搭載。個性にあわせて、奏法にあわせて、自由にサウンドづくりを進めることができます。しかもエディット作業は2モード構成。16の入力に対して一括してエディットを進められ、ドラム・サウンド全体の輪郭づくりをスピーディに行なえる「BASIC EDIT」モードと、16の入力に対して1チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできる「ADVANCE EDIT」モードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(A)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ゲート・タイム(A)：パッドを叩いて発音した瞬間から音が消えるまでの時間を指定するパラメーター。AUTOおよび1~60の範囲で設定でき、最大約3秒の持続音がえられます。

●スレッシュルド(A)：入力したトリガー信号に対して、MIDI変換の開始レベルを指定するパラメーター。アコースティック・ドラムおよびアコースティック・ドラム音をトリガーと

でもストレートに音の表情として表現するためには、豊富かつ緻密なパラメーター群を搭載。個性にあわせて、奏法にあわせて、自由にサウンドづくりを進めることができます。しかもエディット作業は2モード構成。16の入力に対して一括してエディットを進められ、ドラム・サウンド全体の輪郭づくりをスピーディに行なえる「BASIC EDIT」モードと、16の入力に対して1チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできる「ADVANCE EDIT」モードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(A)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ゲート・タイム(A)：パッドを叩いて発音した瞬間から音が消えるまでの時間を指定するパラメーター。AUTOおよび1~60の範囲で設定でき、最大約3秒の持続音がえられます。

●スレッシュルド(A)：入力したトリガー信号に対して、MIDI変換の開始レベルを指定するパラメーター。アコースティック・ドラムおよびアコースティック・ドラム音をトリガーと

でもストレートに音の表情として表現するためには、豊富かつ緻密なパラメーター群を搭載。個性にあわせて、奏法にあわせて、自由にサウンドづくりを進めることができます。しかもエディット作業は2モード構成。16の入力に対して一括してエディットを進められ、ドラム・サウンド全体の輪郭づくりをスピーディに行なえる「BASIC EDIT」モードと、16の入力に対して1チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできる「ADVANCE EDIT」モードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(A)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ゲート・タイム(A)：パッドを叩いて発音した瞬間から音が消えるまでの時間を指定するパラメーター。AUTOおよび1~60の範囲で設定でき、最大約3秒の持続音がえられます。

●スレッシュルド(A)：入力したトリガー信号に対して、MIDI変換の開始レベルを指定するパラメーター。アコースティック・ドラムおよびアコースティック・ドラム音をトリガーと

でもストレートに音の表情として表現するためには、豊富かつ緻密なパラメーター群を搭載。個性にあわせて、奏法にあわせて、自由にサウンドづくりを進めることができます。しかもエディット作業は2モード構成。16の入力に対して一括してエディットを進められ、ドラム・サウンド全体の輪郭づくりをスピーディに行なえる「BASIC EDIT」モードと、16の入力に対して1チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできる「ADVANCE EDIT」モードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(A)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ゲート・タイム(A)：パッドを叩いて発音した瞬間から音が消えるまでの時間を指定するパラメーター。AUTOおよび1~60の範囲で設定でき、最大約3秒の持続音がえられます。

●スレッシュルド(A)：入力したトリガー信号に対して、MIDI変換の開始レベルを指定するパラメーター。アコースティック・ドラムおよびアコースティック・ドラム音をトリガーと

でもストレートに音の表情として表現するためには、豊富かつ緻密なパラメーター群を搭載。個性にあわせて、奏法にあわせて、自由にサウンドづくりを進めることができます。しかもエディット作業は2モード構成。16の入力に対して一括してエディットを進められ、ドラム・サウンド全体の輪郭づくりをスピーディに行なえる「BASIC EDIT」モードと、16の入力に対して1チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできる「ADVANCE EDIT」モードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(A)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ゲート・タイム(A)：パッドを叩いて発音した瞬間から音が消えるまでの時間を指定するパラメーター。AUTOおよび1~60の範囲で設定でき、最大約3秒の持続音がえられます。

●スレッシュルド(A)：入力したトリガー信号に対して、MIDI変換の開始レベルを指定するパラメーター。アコースティック・ドラムおよびアコースティック・ドラム音をトリガーと

でもストレートに音の表情として表現するためには、豊富かつ緻密なパラメーター群を搭載。個性にあわせて、奏法にあわせて、自由にサウンドづくりを進めることができます。しかもエディット作業は2モード構成。16の入力に対して一括してエディットを進められ、ドラム・サウンド全体の輪郭づくりをスピーディに行なえる「BASIC EDIT」モードと、16の入力に対して1チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできる「ADVANCE EDIT」モードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●MIDIチャンネル(A)：各パッドに対応するMIDI音源を指定するパラメーターです。1~16チャンネルごとに細かく発音のしかたをエディットできるADVANCE EDITモードの切り換ができます。ではPM-16の誇る緻密なパラメーター群をご紹介していきましょう(B)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーター、(A)はADVANCE EDITモード時に設定できるパラメーターを表します。

●リズム・コンポーザー(A)：各パッドごとの音源側の音色セッティングを指定するパラメーター。OFFおよび0~127の範囲で設定できます。

●ノート・ナンバー(A)：各パ

当然、組みあわせるMIDI音源のグレードが高いほど、システムの表現力は高くなる。これはその典型モデル。

SHOT OF ADVANCE

最先端サウンドをショットしよう。

●リズム・コンポーザーTR-707：音源としてこのTR-707と組む。それだけでPCMドラム・サウンドをもつ鮮烈なパーカッション・システムに。S/Nの良さとDレンジの広さはすでに定評のTR-707。音色はバス・ドラム(1/2)、スネア・ドラム(1/2)、ロー・タム、ミッド・タム、ハイ・タム、ハイ・ハット(クローズド/オープン)、クラッシュ・シンバル、ライド・シンバルに加え、リム・ショット/カウベル、ハンド・クラップ/タンバリンの15種。

高品質デジタル・サウンドを生のショットのダイナミクスでさらに生かし、さらに表情を、さらに強烈に。

●リズム・コンポーザーTR-727：このTR-727を音源に加えれば、一気に陽気なラテン・パーカッション系システムに。ボンゴ(ハイ/ロー)、ハイ・コンガ(ミュート/オープン)、ロー・コンガ、ハイ・ティンバル、ロー・ティ

ンバル、アゴゴ(ハイ/ロー)、カバサ/マラカス、ホイッスル(ショート/ロング)、キハダ、スター・チャイムとエスニック系やラテン・ミュージックに欠かせない15種のPCM音源を搭載。もちろんTR-707とおなじ高S/N、広Dレンジ・サウンドです。

●リズム・コンポーザーTR-626：このTR-626とのコンビは恐らく最高のコスト・パフォーマンスを約束する



DIGITAL SAMPLER S-220 ¥159,000



DIGITAL DRUMS DDR-30 ¥228,000

でしょう。バス・ドラム(1/2)、スネア・ドラム(1/2/3)、リム・ショット、ロー・タム(1/2)、ミッド・タム(1/2)、ハイ・タム(1/2)、ハイ・ハット(オープン/クローズド)、クラッシュ・シンバル、ライド・シンバル、チャイナ・シンバル、カップ、ハンド・クラップ、タンバリン、そしてさらに10種類のラテン・パーカッション・サウンドを加えた全30種もの高品質デジタル音源を内蔵。もちろんダイナミクス対応。各音源ごとに±7段階でピッチ設定もでき、音源別に出力できる8独立アウトも装備。多彩、豪放、繊細なるパーカッション・プレイを!

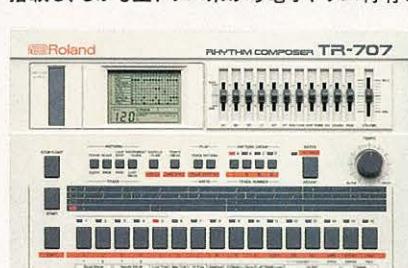
●リズム・コンポーザーTR-505：そしてTR-505とのコンビでは、低価格ながらTR-707/727ゆずりの高品質かつ多彩なデジタル音源が魅力。バス・ドラム、スネア・ドラム、ロー・タム/ミッド・タム/ハイ・タム/ティンバル、リム・ショット/ハンド・クラップ、オープン・ハイハット/クローズド・ハイハット、ロー・コンガ/ハイ・コンガ、ロー・カウベル/ハイ・カウベル、クラッシュ・シンバル/ライド・シンバルと、基本的なドラム系サウンドにラテン・パーカッション系サウンドを加えた16音源を搭載。多彩なリズム・パフォーマンスが楽しめます。

●デジタル・ドラムスDDR-30：いわゆるドラム・シンセサイザーの最高峰をめざすなら、この組みあわせ、DDR-30がベスト・アイテム。その音色は完全デジタルPCM音源。申しぶんのない攻撃力をもつハイ・クオリティ・サウンドです。バス・ドラム用、スネア・ドラム用、タム用(×4)の6音源を搭載し、しかも生ドラム系から電子ドラム特有の音色まで、1音源につき4種類の異なるサウ

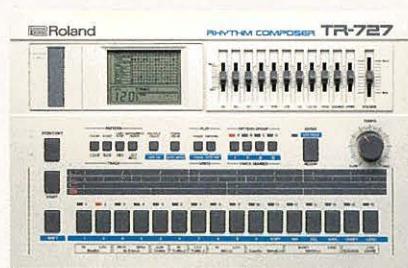
ドを内包。この内蔵音源をベースとして、さらにエンベロープやピッチ・ペンド、イコライジング、ゲート・コントロールなど、総計16種のパラメーターを駆使して、思いどおりの精密なドラム・サウンドを創成。オリジナルに作成した音色は、各音源ごとに8種をメモリーでき、この中からピックアップした音色でドラム・セットとして最大32系列をメモリー可能。このDDR-30の表現力とPM-16の表現力。これはまさに最強のコンビネーションといえるでしょう。

●デジタル・サンプラーS-220：MIDIパーカッション・システムの無限の表現力を実感する組みあわせが、このS-220とのネットワークでしょう。まさに地球上に存在するあらゆる音をパーカッション・サウンドに。さらに一台でポリフォニック・サンプラー数台分の活躍をするマルチ・ティンバー機能や独立4アウトを生かせば、いっそう衝撃的。オーディエンスの目と耳を釘づけにすること間違いなし。豊富にそろった音色ソフト群も魅力です。

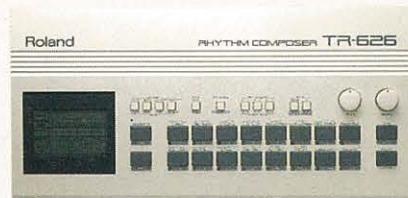
●To PD-10 & 20
Users：PM-16を核としたMIDIパーカッション・システムは、パッド・コントローラーPD-10/20でもコントロール可能です。さらに、パッド・コントローラーBP-1(BOSS)を使えばリズナブルにパッドの増設ができます。最先端へ。ローランドはパーカッショニストの夢をカタチに、現実のサウンドにします!



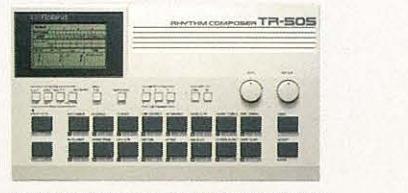
RHYTHM COMPOSER TR-707 ¥99,800



RHYTHM COMPOSER TR-727 ¥99,800



RHYTHM COMPOSER TR-626 ¥52,000



RHYTHM COMPOSER TR-505 ¥48,000

PD-11

BASS DRUM PAD ¥24,000



BASS PAD CONTROLLER PD-10 ¥40,000

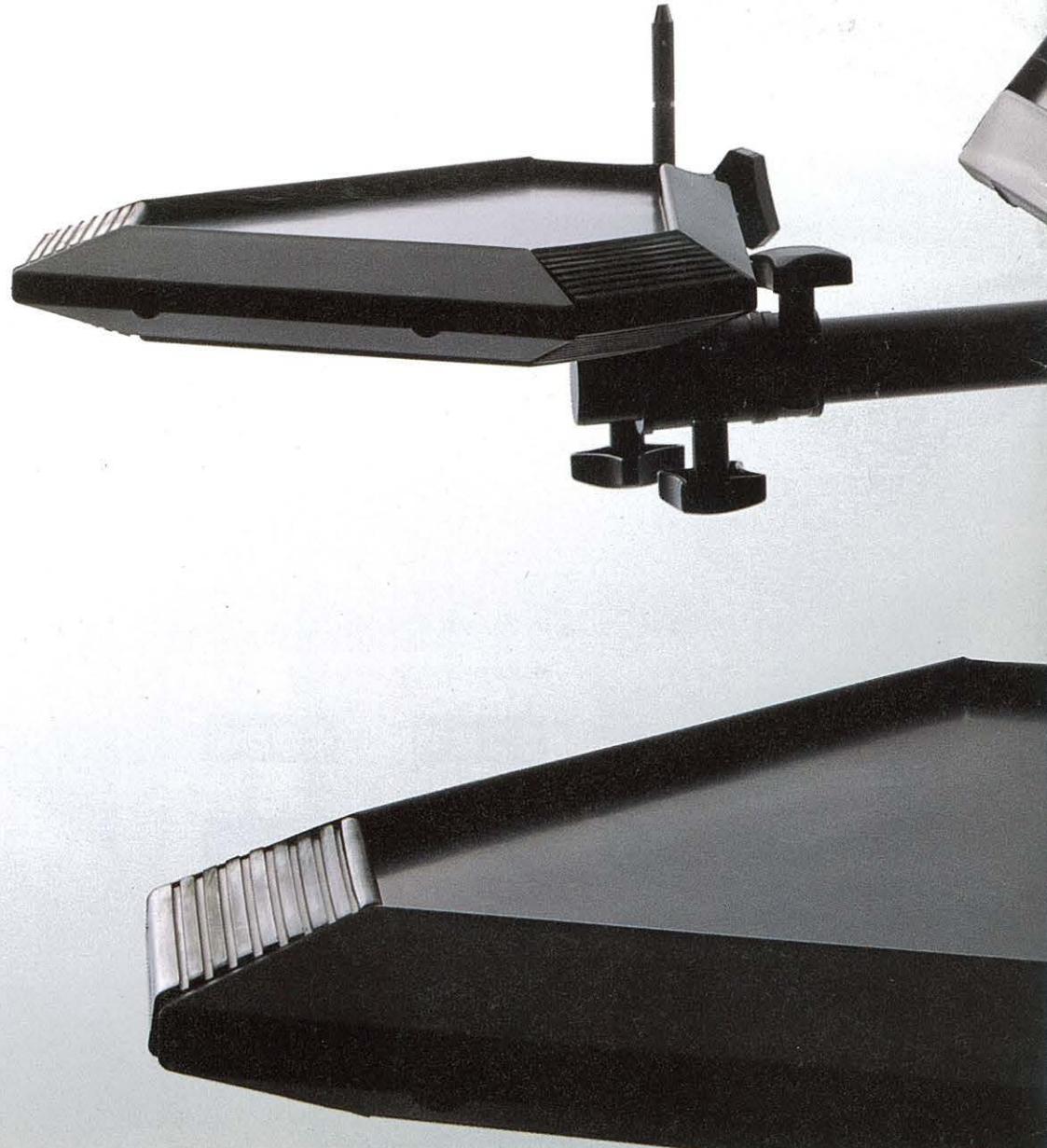


SNARE/TOM PAD CONTROLLER PD-20 ¥20,000



PAD CONTROLLER BP-1 ¥6,000 (BOSS)

別売のパッド・ホルダーBPH-2を使うと
ご覧のように2基のBP-1をマウントできます。



**ROLAND
MIDI PERCUSSION
SYSTEM**

セット価格 ￥197,300

● PM-16X1 ￥65,000
● PD-11X1 ￥24,000
● PD-21X3 ￥42,000
● PD-31X1 ￥18,000
● MDS-1X1 ￥36,000
● APC-66X1 ￥7,000
● PCS-250QX1 ￥2,500
● PJ-1X4 ￥2,800

Roland ローランド株式会社

本社・〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13

製品についてのお問い合わせは、最寄りのローランド各営業所へ。

- 札幌〒060 札幌市中央区北一条西7-3 ☎011(281)0708
- 仙台〒980 仙台市本町2-10-33 ☎022(225)6221
- 東京〒101 東京都千代田区神田須田町1-5 ☎03(251)5595
- 大宮〒331埼玉県大宮市桜木町4-2 ☎0486(45)7737
- 多摩〒190 立川市曙町2-8-30 ☎0425(23)9525
- 横浜〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-9 ☎045(313)3841
- 浜松〒433 浜松市高丘町878-8 ☎0534(37)1231
- 松本〒399 松本市芳川平田349-2 ☎0263(26)8853
- 名古屋〒460 名古屋市中区栄2-1-7 ☎052(202)1881
- 大阪〒542 大阪市南区南船場4-4-21 ☎06(281)1371
- 広島〒730 広島市中区紙屋町1-1-17 ☎082(247)2731
- 福岡〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 ☎092(471)1481
- ローランド・ミュージックプラス・スクール
- 東京〒150 東京都渋谷区桜丘町23-23第2カスヤビル ☎03(770)6121
- 大阪〒530 大阪市北区梅田1-2-2-200大阪駅前第2ビル2F ☎06(346)0552